

# 六中だより

令和3年4月8日発行

## 教育目標

- ・自ら進んで学ぶ人
- ・健康で心豊かな人
- ・責任を果たす人

生徒336名 家庭数324名

立川市立立川第六中学校

校長 加藤 隆司

立川市泉町7 8 6 - 1 6

TEL 042-537-3195

FAX 042-534-6954

MAIL tachikawajh06@giga.ocn.ne.jp

URL <http://www.tachikawa.ed.jp/jh06/>

1年117名(男子64名 女子53名) 2年110名(男子58名 女子52名) 3年109名(男子58名 女子51名)

## ◆4月の重点目標「目標をたて、良いスタートを切ろう」「時間を守ろう」

### 誇りをもって取り組む一年に

校長 加藤 隆司

ご入学、ご進級おめでとうございます。着任3年目となりました、校長の加藤隆司です。今年度もよろしくお願ひします。

昨年度は特別な一年間でした。多くの行事が影響を受け学校にとって厳しい一年となりました。しかし各御家庭のご理解とご協力と、何より生徒の感染予防と学業を両立させようとする努力で一年間乗り切ることができました。ありがとうございました。一年間頑張り抜いた生徒に感謝の思いでいっぱいです。

さて、新年度になりました。始業式や入学式で伝えたことの要旨を紹介します。

一点目は一年間何を頑張るか決めましたかということです。

目標といってもいいですし、成し遂げたいこととも言い換えられると思います。これなしに漫然と一年間生活するのは、しっかりと意識して生活するのでは到達できるところは大きく違ってくると思います。ぜひ一年後にどうなっているかその状況をイメージしそのための頑張るべきことを決めてください。

在校生に二点目に伝えたのは、その頑張ること(目標など)に、今年は「六中生として誇りを持って」とか「六中生としてふさわしい」とか「当たり前」などの言葉を付けて考える習慣を持ってほしいということです。昨年度、生徒は学習や行事や校内生活に大変頑張ってくれましたが、時に地域から登下校の道の歩き方についてお叱りをいただいたり、学校生活の中で担任から指導を受けたりすることもありました。自分が「六中生の一員として自覚して恥ずかしくない行動をしよう」という意識があれば、勉強でも部活でも委員会や係・当番・登下校でさえもその取り組みの質や意識が変わってくると思うのです。

授業に取り組む姿勢、友だちづきあい、行事への参加、どれをとっても自分だけが頑張るのではなく全体の意識を高め、皆で「六中生としての誇りをもって取り組めるように」意識を高く持つことを期待します。

三点目は、毎年話しているマザーテレサさんの言葉です。

「思考に気をつけなさい それはいつか言葉になるから  
言葉に気をつけなさい それはいつか行動になるから  
行動に気をつけなさい それはいつか習慣になるから  
習慣に気をつけなさい それはいつか性格になるから  
性格に気をつけなさい それはいつか運命になるから」



自分の考え次第で、今後の運命を決めるかもしれないというこの戒めは、人生のいろいろな場面であてはまります。運命を引き寄せたいなら思考・言葉・行動・習慣・性格と意識を高めることが肝心です。考え方を変えた瞬間から人は変わることができます。自分の人生を更に良く変えていこうと自分で努力するとともに、みんなが同じ意識で生活の質を高め、さらに立川第六中学校を誇れる学校にしてください。

学校は多くの人とのかかわりを学ぶ場です。自分だけでなくクラスや部活などの仲間とのコミュニケーションや一緒に生活する思いやりなどを経験し、学び、身に着けることも大切です。とはいえ、時には友からの言葉や態度に悩んだり、家庭や進路・学習で悩んだりすることもあるでしょう。そんな時に話を聞いてもらえたり、アドバイスもらうことができる所はいくつかあります。親・友・担任・養護教諭・スクールカウンセラーなどのほか外部の相談窓口なども活用して悩みを解決する力を高めていきましょう。相談やコミュニケーションの工夫で解決に向けて取り組んでいきましょう。そして、みんなで築き上げていく我々の第六中学校であってほしいと思っています。一度しかないあなたの人生は家族や友達にとっても大切な人生です。自暴自棄になったり、ため込んだりせず、相談をしてください。

今もまだ、いつ誰が感染してもおかしくない状況です。持ち込まない・持ち出さない・換気・マスク・消毒・手洗いを徹底して感染を防ぐと共に、どんな時も温かく接することのできるように心がけましょう。